

臨床研究「内側開大式高位脛骨骨切り術における人工骨使用後成績調査」について

筑波大学附属病院整形外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下の通りです。

① 研究の目的

変形性膝関節症や大腿骨内側顆骨壊死に対する手術として、自分の骨を温存する内側開大式高位脛骨骨切り術があります。内側開大式高位脛骨骨切り術は脛骨の開大部に人工骨を入れて、初期強度の安定を図ります。β-TCPという人工骨は時間をかけて自分の骨に置き換わっていく(リモデリング)ことがわかっています。本研究では患者様方の手術後のX線検査、CT検査、術後臨床成績を後ろ向きに調査し、今後の治療に役立てたいと考えています。

② 研究対象:以下に該当する方を対象とします。

2017年から2019年の間に筑波大学附属病院で内側型変形性膝関節および大腿骨内側顆骨壊死と診断された患者様のうち、同院で内側開大式高位脛骨骨切り術を受けた患者様

③ 研究期間:倫理委員会承認後 ～ 2022年3月31日まで

④ 研究の方法

今回の臨床研究では、過去に行われた診療記録(カルテ記録)、検査データ、画像データを参照しながらデータを集める後ろ向き研究で、患者様に新たなご負担を強いることはありません。また、個々の患者様が特定できるような個人情報は一切省き、データは匿名化して使用します。

⑤ 試料・情報の項目:診療記録、検査データ、画像データ

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学 医学医療系 整形外科 運動器再生医療学 准教授 吉岡 友和

⑦ 研究機関名・研究者名

筑波大学 医学医療系 整形外科(○:代表者)

○吉岡 友和、菊池 直哉、山崎 正志

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族(ご遺族)が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の間い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 利益相反について

本研究グループには利益相反のある者がいるが、データ解析、編集に関しては一切の関与しない。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院 〒305-8576 茨城県つくば市天久保2-1-1

所属・担当者名:整形外科 運動器再生医療学 吉岡 友和

電話/FAX:029-853-3219/029-853-3162

対応可能時間:平日9～17時